



選手権大会終了

7月10日(土)に全国高等学校野球選手権大会兵庫大会の1回戦が行われました。1年生が5名入部したため、本校は単独で出場しました。

全国高等学校野球選手権大会 兵庫大会

1回戦 対 伊丹西高校

伊丹西 202 200 300 9

姫路別所 100 600 000 7

初回、打力のある相手打線の中軸に長打を打たれ、2点を先行される苦しい立ち上がりでした。しかしその裏、2番田中(③城山)の四球、盗塁から4番木村(②姫路・東)のセンター前タイムリーですぐさま1点を返し、乱打戦を予感させる初回の攻防となりました。先発の八尾(①姫路・高丘)は下位打線に対しては変化球を有効に使いながらカウントを整え、捕手の増田(①増位)とともに若いバッテリーながら少しずつリズムを掴んでいきました。しかし、4回再び上位に回り、八尾が捕まりかけたところで投手を簾内(②四郷)にスイッチ。簾内は2点を失いましたが、櫻井(②姫路・東)の好守もあり後続を断ちます。すると、その裏、高谷(①姫路・東)から4連続四球で1点、櫻井にセンター前ヒットが出て2点、四球で再び満塁後、簾内にセンターオーバーのタイムリー3ベースが飛び出し、一気に逆転に成功します。5回、2死から失策と長打で2.3塁のピンチを迎えますが、栗田(①城山)の好捕でピンチを脱します。「ゲームの展開がまるで変わる可能性がある」といつも言っている整備後の守備を0点に凌ぎ、後半へのリズムを作りますが、攻撃ではなかなかチャンスを見出せません。7回、連打で一気に逆転されると、長打でさらに1点を失います。集中力が切れてしまいそうな局面での逆転でしたが、櫻井、木村を中心に声でチームを鼓舞し、後続を断ちます。後半は八幡(①山陽)のヒットなどでチャンスを作りましたが、あと1本が出ず、そのまま9-7で敗れました。

目標にしていた「史上初の3年連続勝利」はなりませんでした。この結果をどう見るか。3年生はたった一人がよく頑張ってきました。でも、僕はこの試合は勝たなければならなかったと思います。とても悔しいです。人数が少ないけど大会に出られた、競ることができた、ではなくさらに成長して、勝てるようにならなければいけないと思ってほしいです。逆転したインニングの球場全体からの拍手を覚えていますか？球場全体が姫路別所高校が勝つことを期待している雰囲気

でした。人数が少ないからこそ、勝利を目指すことに価値があると思います。そういう姿を普段から見せていれば、必ず応援してくれる人が増えてきます。やはり勝つことは簡単ではありません。3年生の想いも胸に、来年こそは目標を達成できるように取り組んでいきましょう。

3年生へ

ずっと不調でなかなかヒットが出ませんでした。最後の試合で1本出て良かったです。2盗塁と自信のある足でもチームに貢献してくれてありがとう。ただ一つ残念だったのは最後の打席が見逃し三振だったことです。僕は高校最後の打席、ハーフスイングの三振で終わりました。とても後悔しています。今でも、初球に手を出しておけば結果は変わったかもしれない、と思いつくほどです。でも過去は変えられません。その打席があったから僕は大学でも硬式野球を続けたし、野球以外にも先手先手で自分から行動するようにしようと思うようになりました。最後の打席は見逃し三振だったけれど、自分の人生において見逃し三振はしないでください。「失敗するなら前のめりに」、「同じ三振でも空振り三振」な人生を送ってほしいと思います。その姿勢があれば、必ず大事なところで結果が出るから。2年半、いや途中から入ってきたから2年弱、怒られることはたくさんあったけどよく頑張りました。あの時家族と相談して入部しようと1歩踏み出したから今があります。野球が学ばせてくれたことを今後も活かして行ってほしいです。

次は進路実現に向けて頑張れ。